■科目名		
臨床実習(口腔保健科)		
■英語名		
Clinical Practice (Preventive Dentistry)		
■授業形態	■単位数	■開講期
実習	18.5	10-11期

■担当教員	■担当教員所属
於保孝彦、○山口泰平、佐藤節子、長田恵美、西山毅、五月女さき子	予防歯科学分野
■連絡先（TEL）	■連絡先（MAIL）
099-275-6182	oho@dent.kagoshima-u.ac.jp

■オフィスアワー

特に時間は指定せず、6F分野研究室で随時対応する。

■キーワード

口腔保健指導、リスク評価、口腔清掃指導、フッ化物塗布、予防填塞、定期診査、母子歯科保健、保健行政

■学習目標

１．的確な治療計画を立案し説明できる。
２．口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。
３．セルフケアを行えるように適切な動機づけができる。
４．適切な口腔清掃法を指導できる。
５．生活習慣に関して適切に指導できる。
６．各ライフステージにおける歯科疾患の予防法を説明できる。
７．唾液の性状と役割を説明できる。
８．歯および歯周組織の構造と機能を説明できる。
９．口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。
10. 齲蝕、歯周疾患の病因と病態を説明できる。
11. 齲蝕、歯周疾患の予防と治療の方法を説明できる。
12. 集団レベルの予防と健康管理（母子歯科保健、学校歯科保健、成人歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。
13. スクリーニング検査を説明できる。
14. 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。

■授業概要

全年齢層の患者さんに対して、口腔の衛生管理、疾患予防のための理論と技法を習得する。
また、保健行政の学習のため市内保健センターでの３歳児健診見学実習を行う。

■授業計画

	午　前	午　後
月	ガイダンス/診療参加	う蝕リスク検査
火	口腔内診察実習/診療参加	口腔内診察実習/診療参加
水	診療参加	
木	診療参加	診療参加
金	口腔保健管理計画立案/診療参加	口腔保健管理計画発表

第１クール：口腔内診察、検査と口腔保健管理計画立案・発表
第２クール：予防処置
第３クール：保健行政についての理解と学外見学実習
　　健診結果の分析、口腔保健指導（自験、２例以上）
　　最終口頭試問

また全クールにおいて、外来にて医科・歯科入院患者の口腔ケアを見学する。

■予習・復習へのアドバイス

ガイダンスでは実習全体の内容を概説し、実習の進め方、評価方法について解説する。
毎回の実習にあたっては、そのテーマに該当する内容を教科書にて予習しておくこと。
実習では、「予防歯科臨床の手引き」，「実習書」を使用するので、当該部分を参照のこと。

■教科書

特に指定しない。

■参考書

・予防歯科臨床教育協議会編、実践予防歯科、医歯薬出版
・予防歯科臨床教育協議会編、予防歯科実践ハンドブック、医歯薬出版
・米満正美ほか編、新予防歯科学、医歯薬出版
・末高武彦ほか編、新口腔保健学、医歯薬出版

■成績の評価基準

規定の実習内容を全て履修すること。
実習への参加態度、レポート、技能試験（予防填塞、口腔保健指導）、最終口頭試問、および実習終了時OSCEで評価する。

１．各クールについて参加態度10点、レポートまたは技能試験10点の計20点とする。
　　３クールで計60点（A)
２．最終口頭試問：20点（B)
３．実習終了時OSCE：20点（C)

A＋B＋C（100点）を最終評価点とする。

■その他